

実施グループ： 1

事業名：排水ポンプ車購入事業

担当課：建設交通部用地課

検証結果（検証委員挙手数）		検証結果（市民判定人）	
あり方の再検討	0人	あり方の再検討	0人
実施方法の再構築	0人	実施方法の再構築	4人
実施内容の改善	4人	実施内容の改善	4人
現行通りの実施	0人	現行通りの実施	9人

検証委員からの主な意見

- この1台だけで全ての被害を防ぐことができるわけではないことを、もっと明確に説明するべき。分析ができなければ必要台数が見えない。
- 運用方法をよく研究して、効率的な活用を。
- アウトカム・アウトプットも間違っていないが、工夫して、事業の意義を明らかにしてはどうか。
- ポンプ車の必要性は十分理解できるが、高価であるため、できるだけコスト削減を考えて、引き続き購入してほしい。中古車がないのならば、他の車種・メーカー等の検討も必要。

市民判定人からの主な意見

排水ポンプ車の運用について

- ・この1台でこのようにかわるという話がききたかった
- ・点検運転をされているだろうから、実際に公開実演をすれば納得できるのではないだろうか。
- ・ポンプ車の出動により市民が安心できればそれでいいのかも。
- ・大雨の都度、浸水を心配しなくてはいけないので排水ポンプ購入に大変賛同します。
- ・大雨の時に安心して暮らしたいので、ポンプ車の追加購入してほしいです。
- ・福知山市が水害の時だけでなく近隣の水害のところへも（福知山市以外）出動ができるので購入してよかったと思う。車検などの維持費が大変そう。
- ・今後、水害被害についての対策について長期見通しを持つ中での、とりあえずの対策としての効果は認めます。
- ・最低限の対策だろうから仕方のないところなのかな。
- ・常時使うものではないので、整備状態はどうか。
- ・ポンプ車は今の台数でいいのか？増やしてもいいのではないのか？
- ・9台で足りるのか？また、この1台が必要なのか？
- ・ポンプ車で間に合うのか。
- ・同一仕様の物ありきだったか。費用を抑えて複数台ではいけないのか。
- ・ソフト面で水害発生時の操作出来る職員の確保は大丈夫か。
- ・内水対策は他にない？何と対比してポンプ車となった？

水害対策について（ポンプ車以外）

- ・災害に対する危機対応力の強化については、職員の対応力も必要ではないか。

- ・ポンプ車を買う以外のハード面の強化はどうだったのか。
- ・ポンプ場が動かなかった場合もあるので、話は違いますがポンプ場の充実も必要。
- ・国に頑張ってもらって、由良川河川の浚渫を行うべきではないか。福知山市だけでは難しい（無理）。
- ・今回、由良川流域で築堤工事が多く行われている。築堤工事にも工事費・土地買収費・人件費がかかっている所以今後築堤の効果も市民に知らせてほしい。（福知山市は川が多いので築堤の効果の証明）
- ・今後も局地的豪雨が増えてくる中、浸水があればまた1台増やしていくという風になると思うが、その際、他の災害対策事業とあわせて購入をするのがよいか、別の対策を行っていくのがよいか、考えてもらえたらと思う。
- ・堤防を高くするだけでは意味がない。国はさらに樋門を作ろうとしている。福知山市は、京都府、国に提言すべき。

その他

- ・排水ポンプ車の役割で分からなかったことが分かった。
- ・数値化、定量化をしっかりと行う。
- ・国交省、府を含めた根本的な対策を、市行政からより強力に求めるべき。
- ・国交省と連呼されており、福知山市として自信をもって水害対策を行えば、府も国も協力してくれると思う。評価者に賛同できます。
- ・完全に排水できるかという質問に明快な回答はなかった。もう少し、根本的な対策を検討してほしい。国土交通省の検討事項でもあるが、60年以上前から完全な対策ができていない状況で残念です。
- ・数年前の弘法川のポンプが水に浸かり使えなくなった時に、このポンプ車が合った場合はどうだったのでしょうか。
- ・「現行通りの実施」で判断したものの課題は多いと思います。
- ・大変ですが頑張ってください。
- ・一番力を入れて取り組んでいただきたいです。
- ・市民体育館側の由良川堤防が老朽化して決壊した場合の危機感があるのでしょうか？
- ・人命優先の中で、水害被害をとらえることが必要です。
- ・酷ではありますが、ある程度の水害被害はやむをえない部分があるのではないか。
- ・何度も浸水被害にあっている福知山市だからこそ、必要な物だとは思う。
- ・避難所の物品をしっかりと用意してほしい（この件とは関係ないが・・・）人がたくさんきたら足りなくなった。